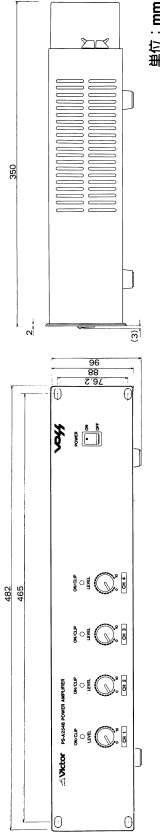


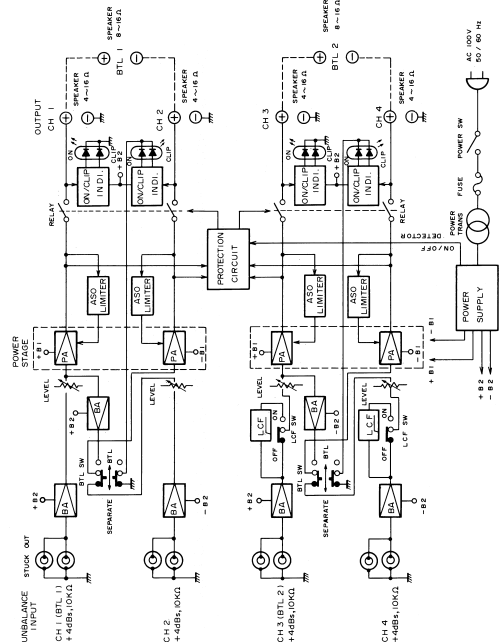
## 〈仕様〉 (0dBs = 0.775V)

定格出力	20W x 4 (20Hz~20kHz, 0.1%, 8Ω, EIAJ)	定格電源	AC100V 50/60Hz
最大出力	22W x 4 (20Hz~20kHz, 0.1%, 8Ω, EIAJ)	消費電力	①137W, 210W (8Ω, 定格時)
出力	25W x 4 (1kHz, 0.1%, 4Ω, EIAJ)	寸法	幅482×高さ88×奥行350 (mm) (フット含まず)
周波数特性	20Hz~20kHz ±0.5dB	重量	約8kg
全高調波歪率	0.1% (20Hz~20kHz, 8Ω, 20W 出力)	仕上げ	黒色半艶粉体塗装 (マンデルリン1近似)
クロストーク	65dB以上 (1kHz)	付属品	接続コード(30cm).....1 スリコネ(5mm).....4
SN比	96dB以上 (HF-A入力短絡)	添付物	保証書.....1 サービス窓口案内.....1
入力感度	+4dBs (MAX)		
電圧増幅度	20dB		
入音ビートオフ	10kΩ (不平衡)		

## 〈外觀寸法図〉

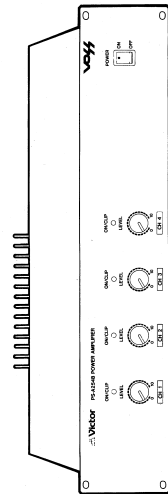
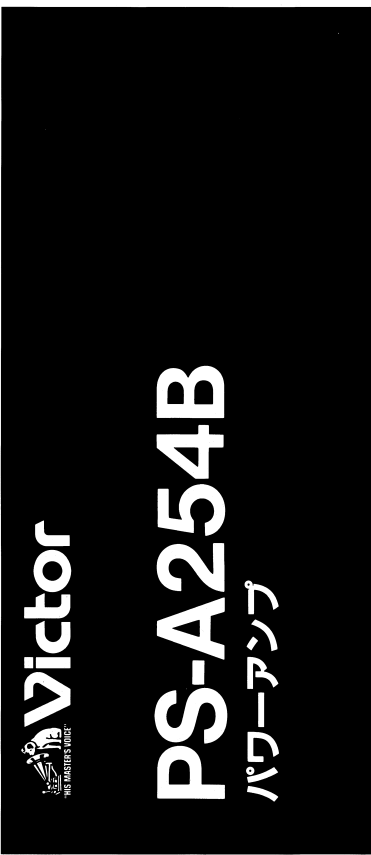


## 〈ブロックダイヤグラム〉



## 取扱設置説明書

先進の個性



Victor Original Sound System の為で、プロオーディオ機器の登録商標です。



— お買いあげありがとうございます —  
ご使用前にこの取扱設置説明書をよくお読みの上正しくお使いください。  
お読みになったあとは大切に保存してください。

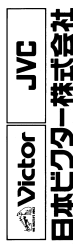
私たちは環境・資源を大切にしています。  
この取扱設置説明書はエコマーク認定の再生紙 (古紙100%)  
を使用しています。

### 〈保証とアフターサービスについて〉

- 修理を依頼される場合は、お手数でもう一度、各部の接続、ツマミの位置についてお調べください。それでも具合が悪いときは、電源を OFF にしただうえで故障状態をできるだけ詳しく品名、型名、おなまえ、おところ、電話番号を記載し、保証書添付しておきます。保証書はお買上げ販売店でお戻ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げの日より1年間です。保証書記載の内容により、お買上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- そのほかアフターサービスについてご不明の点は、お買上げの販売店または別紙 (ビクターサービス窓口案内) をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にご相談ください。

### 〈安全上のご注意〉

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずにかならずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの巻き足しは、火災や感電の原因となりますので、おやめください。
- コードが熱源具に触れたり、近づくとこがないようにしてください。被覆が剥れたり変形し危険です。
- セット内蔵に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。
- 万一、本機に異常 (異常な音・におい・煙等) があつたとき、あるいは内部に異物が侵入したり、水が入つたときなどは、ただちに電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。
- 本機は日本国内専用です。必ず商用電源 AC100V 50/60Hz でご使用ください。



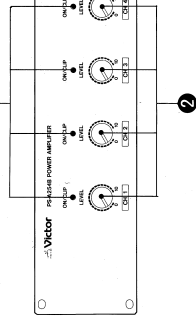
お客様ご相談センター  
〒113 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 電話 (03) 5684-9311  
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル 電話 (06) 765-4161  
システム事業部  
〒192 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7243 (ダイヤルイン)

## 〈取扱い上のご注意〉

1. 窓をしめきった自動車の中や直射日光のあたるところ、暖房器具の近くに放置しないでください。
2. 湿気の多い場所または湿度や湯気が当るような場所は避けてください。故障の原因となります。
3. 商品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
4. 傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。

## 〈各部の名称と働き〉

### ■フロントパネル



#### ①POWER 電源スイッチ

スイッチを「ON」側にすると電源が入ります。スイッチ投入後3～5秒で④インジケータが点灯し、動作状態に入ります。

#### ②LEVEL 入力レベル調節

入力感度を+4dB (MAX) まで連続可変できます。ミキサープリアンプの出力レベルに合わせて調節してください。(クリップボジションOFF)

#### ③INPUT 入力端子 (不平衡) CH1, 2, 3, 4

ピンジャック +4dB 10KΩ

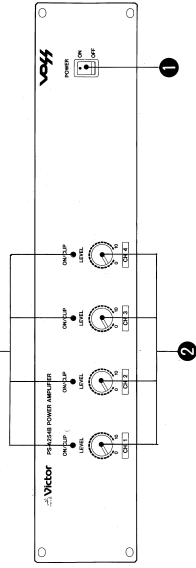
各チャンネルの入力端子は並列端子となっております。BT1, BT2 動作の場合、それぞれ CH1, CH3 へ入力信号を接続してください。

#### ④SEPARATE/BTL BTL 切換スイッチ 1, 2

BTL 動作でご使用になる場合に、このスイッチを押して「BTL」の状態にしてください。

5. 大出力動作で長時間ご使用いただく時は、本機の間隙や上面、下面は十分にスペースを取り、また、ラックに設置する場合は上下に1ユニット以上のブラントパネルを入れ、空気の流通をよくしてください。
6. キャビネットが汚れたら、中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布で拭き取ります。シンナーやベンジン、殺虫剤などを揮発性のものをかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままさないでください。

プラスチックの中に含まれる可塑剤 (かそざい) の働きにより変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



#### ⑤ON/CLIP インジケータ

通常の使用状態では、緑色のランプが点灯します。出力レベルがクリップ点近くなるとインジケータが緑色から赤色に変わります。赤色が点灯しない範囲でお使いください。

BT1, BT2 はチャンネル 2, 4 のインジケータが点灯して動作表示します。

\* BTL = バランスド・トランスレス

#### ⑥SPEAKERS スピーカー出力端子

セパレート動作の場合 4～16Ω、BTL 動作の場合 8～16Ω のスピーカーを接続してください。  
 BTL1 動作の場合 CH1 ⊕ 端子をホット (+) 側、CH2 ⊕ 端子をコールド (-) 側に接続してください。同様に  
 BTL2 動作の場合 CH3 ⊕ 端子をホット (+) 側、CH4 ⊕ 端子をコールド (-) 側に接続してください。

#### ⑦注意

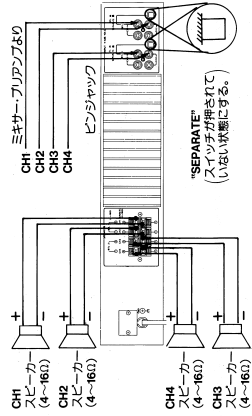
・出力回路の並列接続はできません。

#### ⑧電源コード

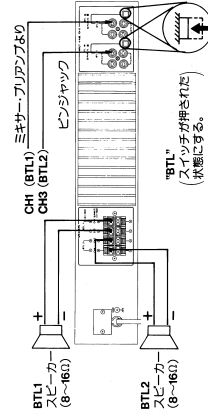
#### ⑨GND グランド端子

## 〈接続のしかた〉

### ■セパレート動作



### ■BTL 動作



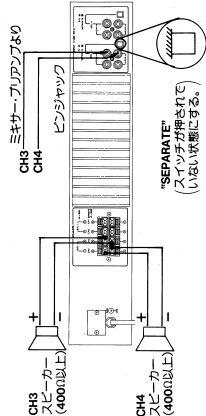
#### ①注意

- ・BTL のときは 8Ω 以上のスピーカーをご使用ください。8Ω 未満では過負荷になります。
- ・BTL 接続の場合、一側を共通に接続することは絶対に行ってください。

### ■100V 定電圧ライン動作 (CH3, 4 のみ)

#### 100V 定電圧ラインの設置について

- ・100V 定電圧ライン動作でご使用になる場合は、ライントランス PS-T225 (別売) を本機の内部に取り付けることが必要です。販売店にご相談ください。



#### ②注意

- ・100V 定電圧ラインの BTL 接続は絶対に行しないでください。

## 〈応用使用例〉

### ■セパレート・BTL・100V ラインの併用

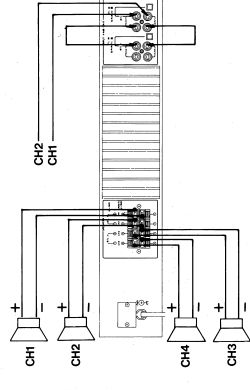
セパレート・BTL・100V 定電圧ライン動作は組合わせて使用することが可能です。

- 〈例 1〉 CH1, 2 のセパレートと BTL
- 〈例 2〉 CH1, 2 のセパレートと CH3, 4 の 100V ライン
- 〈例 3〉 BTL と CH3 のセパレートと CH4 の 100V ライン

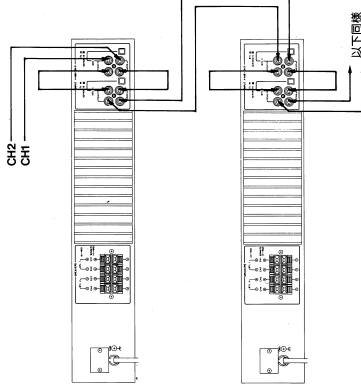
### ■入力回路の並列接続

本機の入力端子は、各チャンネル毎の並列端子となっておりますので、入力機器 (ミキサー・プリアンプなど) 1 台に対して数台のパワーアンプを並列接続することができます。

#### (1) 本機 1 台での並列入力接続使用 (セパレート動作)



#### (2) 2 台以上のパワーアンプ並列入力接続使用



このような接続をする場合、1 台のオーディオミキサー PS-M300 に対して、本機 PS-A254 をら台まで接続できます。